

研究主題

中学校技術・家庭科家庭分野における 実践的・体験的な学習活動に関する研究

－住生活の内容における題材開発と指導資料の作成を通して－

【研究担当者】 川 地 里 美

【この研究に対する問い合わせ先】

T E L 0198-27-2814 F A X 0198-27-3562

E-mail kagaku-r@center.iwate-ed.jp

1 はじめに

この研究は中学校技術・家庭科家庭分野の住生活において、実践的・体験的な学習活動を盛り込んだ題材開発を行い、その活用方法を指導資料に示すことで、指導の改善に役立てようとするものです。

◎研究協力員 花巻市立矢沢中学校 田口 真弓 教諭 (授業実践対象：花巻市立矢沢中学校2年生)

2 中学校技術・家庭科家庭分野における実践的・体験的な学習活動に関する基本的な考え方

本研究を進めるにあたり、中学校技術・家庭科家庭分野（以下家庭分野という）における実践的・体験的な学習活動を中学校学習指導要領解説技術・家庭編の記載事項【表1】と文献調査（中間、2004、望月、2008 など）に基づき、【表2】のようにとらえました。

【表1】実践的・体験的な学習活動に関する記載

技 術 ・ 家 庭 科	製作、整備、操作、調理などの実習や、 観察・実験、見学、調査・研究など
家 庭 分 野 住 生 活	調査や観察・実験・住生活を豊かにする ための小物製作など

【表2】家庭分野における実践的・体験的な学習活動のとらえ

実践的に学ぶ	体験的な学習活動によって身に付けた知識と技術を、実際の生活で活用しようとする状態
体験的に学ぶ	頭で考えて分かるだけでなく、手先などの体の部位や五感を使って生活に必要な知識と技術を 経験させ、実感を伴わせる状態

3 実践的・体験的な学習活動を中心とした題材開発の視点と指導資料

(1) 題材開発の視点

住生活の内容における実践的・体験的な学習を中心とした題材を開発しました。題材開発の三つの視点から開発した題材と実践的・体験的な学習活動との関連を【表3】に示します。

【表3】開発題材の視点と実践的・体験的な学習活動との関連

題材の視点【指導項目】	開発題材	実践的・体験的な学習活動
日常生活を想定できる場面設定から課題解決的な学習が展開できること 【C(2)ア・イ、C(3)イ】	家族が安全・安心な室内環境を考えよう	課題解決的な学習 ・コラージュ作成 ・作品発表と相互評価 ・セブクロス法ワークショップ ・住まいの安全対策発表会
身近な材料で簡易な観察・実験が展開できること 【C(2)イ】	換気・除湿の状態を確認しよう 洗剤のいらない汚れ落とし剤を作って使おう	簡易模型による換気・除湿の観察 油・ほこりの混合汚れの分解観察
住生活を豊かにするための布を用いた小物製作が展開できること 【C(3)ア】	住まいの安全・安心対策や節電に役立つ小物を工夫しよう	布を用いた物の製作実習 ・非常持出袋の工夫と製作 ・玄関収納ポケットの工夫と製作 ・落ちないクールネックタイ

家庭分野の学習指導を計画する際、これまで指導してきた題材にとらわれず、改訂された学習指導要領の学習内容ごとのねらいをしっかりとらえ、このことを題材や学習活動を工夫する際の視点とすることが重要です。今回は、教師や生徒が入手容易な教材・教具を用いた住生活の題材を開発しました。

(2) 指導資料の構成と項目

指導資料の構成は、題材ごとの指導資料とその指導に活用できる生徒用学習シートとしました。教材の準備から、学習指導、評価までの一連の流れを具体的に示すために、【表4】のように項目を工夫しました。指導資料の内容を次頁に紹介します。

【表4】指導資料の項目


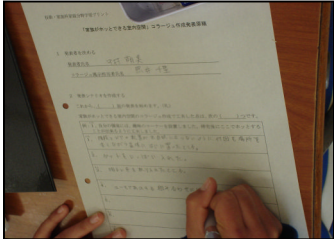

題 材	題材の視点	題材名	指導項目（関連）
	題材の目標	題材の指導計画	題材の評価規準
教師の準備	教材・教具		
	学習活動・地域資源活用		
指導展開例	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価場面・評価方法
	学習課題	板書例	教材・教具活用場面





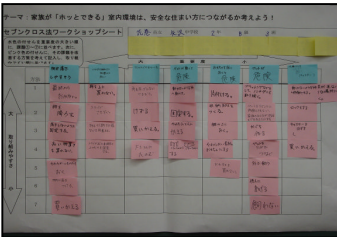
【技術家庭科（家庭分野）実践的・体験的な学習活動を中心とした題材の指導資料】

＜ 題材の視点 ＞

日常生活を想定できる場面設定から課題解決的な学習が展開できる

題材名	家族が安全・安心な室内環境を考えよう	項目	C(2)「住居の機能と住まい方」アイ									
題材の目標	家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる											
題材の指導計画	① 家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう		2時間									
	② 家族の「安全」を確保した「安心」できる快適な住まい方の工夫について考えよう		2時間									
題材の評価規準	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創意する能力	生活の技能									
	安全で快適な室内環境の整え方や、住まい方に関心を持ち、整え方と住まい方の課題に取り組み、住生活を豊かにしようとしている。	室内環境について課題を見付け、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する知識を身に付けている。									
教師の事前準備	教材・教具	<input type="checkbox"/> 前時までに紙用のはさみを持参することを連絡しておくこと <input type="checkbox"/> ブラックボード（サイズA3）各班1枚（画用紙黒またはアルバム台紙黒） <input type="checkbox"/> 住まいに関する雑誌や家具カタログや住宅広告 <input type="checkbox"/> 水のり、付せん紙（サイズ7.5×5mm、ピンク色・水色） <input type="checkbox"/> セブクロス法ワークショップシート各班1枚【ポスタープリンターで拡大印刷】 <input checked="" type="checkbox"/> ポスタープリンターが無い場合：マス目模造紙各班1/2枚、マジック、定規										
	学習活動・地域資源活用	<input type="checkbox"/> グループ学習の形態をとるため、班編成を行っておくこと <input type="checkbox"/> 班で取り上げる住空間が重複しないように、教師が住空間を区分しておいてもよい										
指導展開例	学習活動 学習内容	板書例	指導上の留意点、教材・教具活用場面、 評価場面・評価方法									
1/4時	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返る 本時の学習課題を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 住居の基本的な機能、その機能を果たす住空間との関連、住まい方のルールやマナーが必要になるなどの既習事項を確認させる 	<p>【生活や技術についての知識・理解】</p> <p>＜住居の基本的な機能（働き）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風雨、寒暑などの自然から保護する働き ・心身の安らぎと健康を維持する働き ・子どもが育つ基盤としての働き など <p>＜住空間＞</p> <p>共同生活の空間と個人生活の空間</p>									
導入	<ul style="list-style-type: none"> モデル家族を確認する 	<p>学習課題</p> <p>家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう</p>										
展開	<ul style="list-style-type: none"> モデル家族を確認する コラージュで作成する住空間を選び、必要な家具や設備について意見を出す <table border="1"> <tr> <td>・リビング+玄関→</td> <td>班</td> </tr> <tr> <td>・台所+ダイニング→</td> <td>班</td> </tr> <tr> <td>・風呂+洗面所+トイレ→</td> <td>班</td> </tr> <tr> <td>・小学生幼児の部屋+階段</td> <td>→ 班</td> </tr> <tr> <td>・祖父母の部屋+廊下→</td> <td>班</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 作業を分担し、雑誌・カタログ・住宅広告から必要な家具や設備を切り取る 家族が集まったり、共用したりする住空間について、家具の配置や団らんの場を工夫し、コラージュに表現する 	・リビング+玄関→	班	・台所+ダイニング→	班	・風呂+洗面所+トイレ→	班	・小学生幼児の部屋+階段	→ 班	・祖父母の部屋+廊下→	班	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化におけるモデル家族が安心して生活できる室内環境をコラージュで表現させる <p>【日常生活の場面設定】（モデル家族の例）</p> <p>70歳代祖父母、40歳代父母</p> <p>子ども 中学生1人・小学生1人・幼児1人 など</p> <p>↑ 指導事項として、「幼児や高齢者など様々な年齢で構成される家族が安全で快適な生活を送れるようにすることの重要性に気づかせるように配慮する」とあるため、モデル家族を設定する場合に留意する</p>
・リビング+玄関→	班											
・台所+ダイニング→	班											
・風呂+洗面所+トイレ→	班											
・小学生幼児の部屋+階段	→ 班											
・祖父母の部屋+廊下→	班											
まとめ			<ul style="list-style-type: none"> コラージュ作成に必要な材料（台紙、雑誌・カタログ・住宅広告）を配付し、作成の手順と留意事項を説明する 作成中に机間巡視し、モデル家族が安心して楽しく住まう室内環境になるよう考え、作成するように支援する。不完全なコラージュの中に、次の学習段階での生活課題が潜在するので適度に支援する 家族がホッとできるように工夫した点についてまとめさせる 									

指導展開例	学習活動 学習内容	指導上の留意点, 教材・教具活用場面, 評価場面・評価方法								
2/4時	<ul style="list-style-type: none"> 前時から継続している本時の学習課題を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 各班の作成状況を確認して、完成途中の班があれば、作業時間を配当する 								
導入	<div data-bbox="312 331 657 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> コラージュ作成に必要な材料を準備する コラージュの作成状況を確認し、作品を完成させる 	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿作成シートを配付し、コラージュが完成した班から、発表の準備に入らせる 								
展開	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿作成シートを使って、「家族がホッとできる室内環境」の工夫点をまとめ、発表の準備・練習を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族がホッとできる室内環境」の工夫点を要点よく発表できるように、発表原稿作成シートを活用させて、発表の準備と練習をさせる 発表する内容について共同で考えさせるために、発表原稿作成シートは、一人ひとり書くことを指示する 発表者と掲示担当を決めさせる <div data-bbox="735 949 1401 1608" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>技術・家庭科（家庭分野）生徒用学習シート</p> <p style="text-align: center;">「家族がホッとできる室内環境」 コラージュ発表原稿作成シート</p> <p style="text-align: center;">____年 組 番（ ） 班 氏名 _____</p> <p>1 発表シナリオを作成する これから、（ ） 班の発表を始めます。（礼） 家族がホッとできる室内環境のコラージュ作成で工夫した点は、次の（ ） つです。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">いち</td> <td style="width: 80%; height: 20px;">1、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">に</td> <td style="width: 80%; height: 20px;">2、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">ろく</td> <td style="width: 80%; height: 20px;">6、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">しち</td> <td style="width: 80%; height: 20px;">7、</td> </tr> </table> <p>以上で、（ ） 班の発表を終わります。（礼）</p> <p>2 発表者を決める 発表者氏名 _____ コラージュ掲示担当者氏名 _____</p> </div>	いち	1、	に	2、	ろく	6、	しち	7、
いち	1、									
に	2、									
ろく	6、									
しち	7、									
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 完成したコラージュについて、工夫した点を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の礼法を確認させ、すべての班に工夫点を発表させる 発表を聴く側のマナーについても指導する 								
	<ul style="list-style-type: none"> 教師からの講評を聞き、工夫点を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> すべての班の発表後に、教師から講評する 								

指導展開例	学習活動 学習内容 板書例	指導上の留意点, 教材・教具活用場面, 評価場面・評価方法
<p>3・4/4時</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題 安心な（ホッとできる）室内環境は、安全で快適な住まい方につながるか考えよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ホッとできる」とは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 安心できるということ ② 安全も加えて考えていく <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「安心・安全」とは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 危険がないこと ② けがをしないこと </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心と安全の意味について考えさせる ・安心と安全の相違点や、住まいの安全を脅かしている現象、高齢者と幼児の身体的変化や動き、災害など、それぞれの特徴を確認させる <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>指導の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語事典や広辞苑で「安心」「安全」の意味を調べさせる ・教科書の資料から、家庭内事故や高齢者、幼児、災害の特徴について確認させる ・参考資料：実践家庭教育大系 15p. 99 図 4-5 <p><住居の安全性と危険を脅かしている現象></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">住居の安全性</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家庭内事故</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">火災</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地震・台風など</div> </div> </div> </div>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がホッとできる住まいのカラーズから、危険箇所を見つける（課題の見だし） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>カラーズを住まいの安全対策学習に役立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付せん紙ピンク色 →安全対策OK！ ・付せん紙水色 →安全対策が不安 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・セブクロス法ワークショップで安全対策が不安な点、危険箇所の対策を考える（課題解決） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>安全・安心な室内環境について考えよう セブクロス法で課題解決!</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの安全対策について発表する <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・各班に付せん紙（ピンク色・水色）を配付する ・各班の発表後、他の班のカラーズを見て回らせ、付せん紙のピンク色によく工夫している、または、安全対策ができていない点を、水色に危険と思われる安全対策が不安な点を、それぞれ記入させ、カラーズに貼付させる ・安心だけでなく、安全にも配慮した室内環境を工夫するために、他者から多くの意見をもらうことの必要性を確認させる ・付せん紙に誹謗中傷を書かないように注意する <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・セブクロス法ワークショップシートを各班に配付する ・カラーズに貼付された水色の付せん紙を課題として、重要度の大小について考えさせ、①～⑦の順に貼らせる ・さらに、課題①～⑦への安全対策（方法）を、班員で協働して考えさせ、ピンク色の付せん紙に記入させ、取り組みやすさの順に、ワークショップシートに貼らせる ・できるだけたくさん課題解決の方法を考えさせ、ピンク色の付せん紙に記入させ、7×7=49マスを埋めさせる ・課題に対する対策について、発表させる ・発表したシートを教室内に掲示し、学習の振り返りに活用させる <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>【生活や技術への関心・意欲・態度、生活を工夫し創造する能力】 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、安心できる快適な住まい方の工夫ができる</p> </div> </div>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りとまとめをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況記録シートを用いて、家族の「安全」を確保した「安心」できる快適な住まい方について、日常生活で気をつけていきたいこと、工夫したいことを考え、まとめさせる

4 おわりに

家庭分野の住生活における実践的・体験的な学習活動を充実させるために開発した題材は、非常時の生活課題について学習を展開させる視点も含んでいます。開発題材を授業で活用できるよう作成した指導資料は、今後、当センターWeb ページに掲載しますので、ご活用ください。

